

第3回がん検診事業の評価に関する委員会	
平成20年2月4日	資料5

資料5：がん検診関係資料

「がん対策推進基本計画」(抜粋)
がん検診に関する目標

- ◆ がん検診の受診率について、欧米諸国に比べて低いことも踏まえ、効果的・効率的な受診間隔や重点的に受診勧奨すべき対象者を考慮しつつ、5年以内に50%以上（乳がん検診、大腸がん検診等）とすることを目標とする。
- ◆ また、すべての市町村において、精度管理・事業評価が実施されるとともに、科学的根拠に基づくがん検診が実施されることを目標とする。

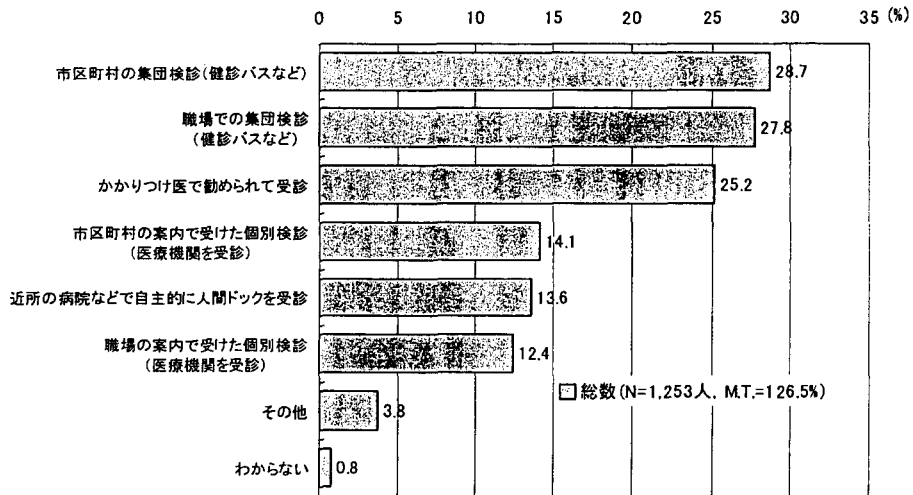
市町村事業におけるがん検診の概要

種 類	検 査 項 目	対 象 者	受 診 間 隔
乳がん検診	問診、視診、触診、 乳房エックス線検査(マンモグラフィ)	40歳以上	2年に1回
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 (有症状者は、まず医療機関の受診を 勧奨。なお、希望する場合には子宮頸 部の細胞診に引き続き子宮体部の細胞 診を実施。)	20歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診、便潜血検査	40歳以上	年1回
胃がん検診	問診、胃部エックス線検査	40歳以上	年1回
肺がん検診	問診、胸部エックス線検査、 喀痰細胞診	40歳以上	年1回

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(平成10年3月老人保健課長通知)に基づき実施されているもの

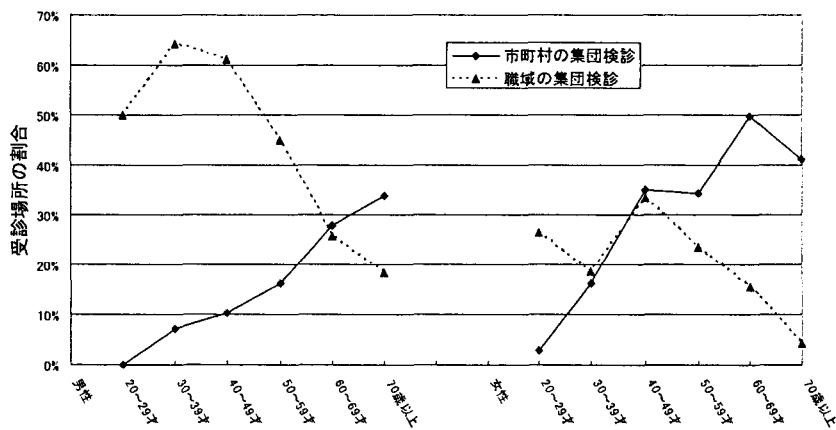
がん検診の受診場所

がん検診の受診場所 （一度でも何らかのがん検診を受診された者に、複数回答）



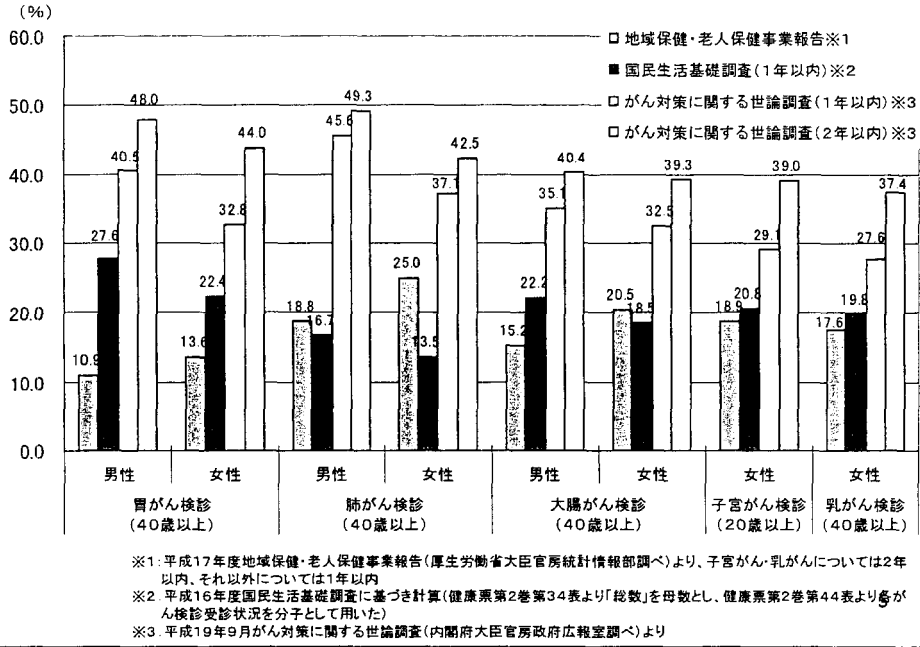
出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

がん検診の受診場所(性別・年齢階級別、集団検診)

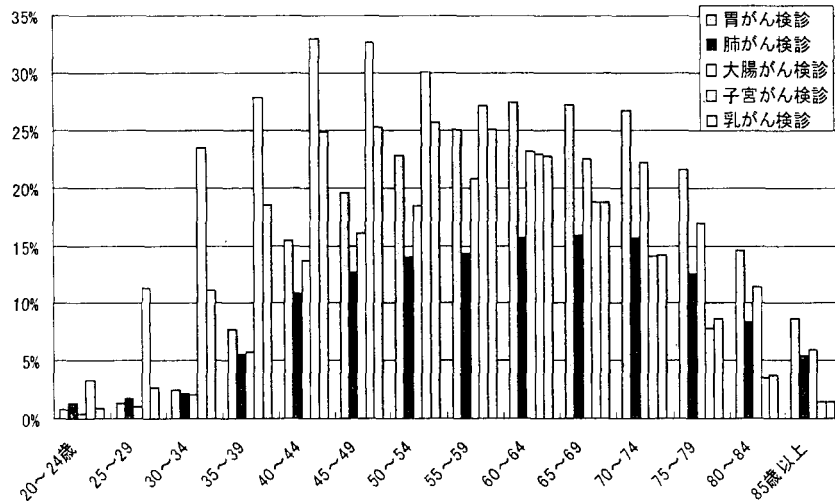


出典: 「がん対策に関する世論調査」(平成19年9月内閣府)
一度でも何らかのがん検診を受診した者の回答(複数回答)

調査別がん検診受診率

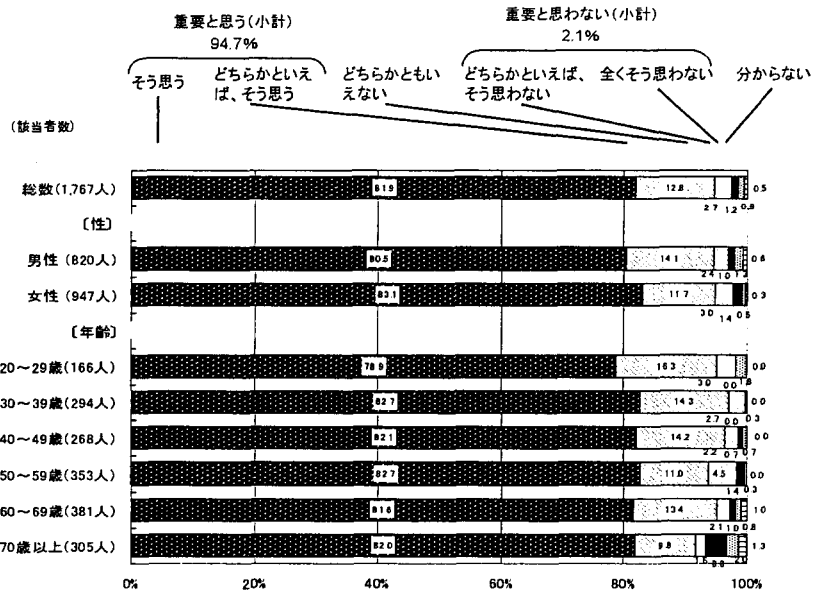


年齢階級別がん検診受診率(女性)



平成16年国民生活基礎調査から推計
 (健康票第2巻第34表/健康票第4巻第16表)

がん検診の関心度

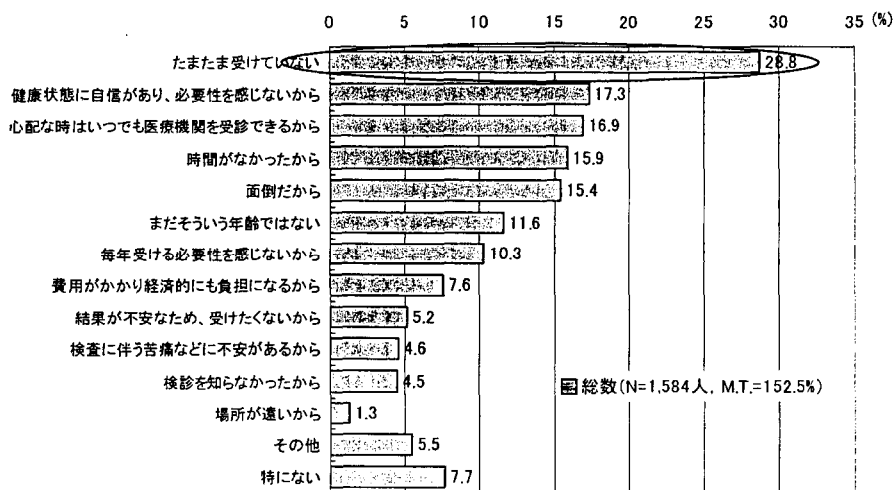


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

がん検診 未受診の理由

最近、未受診の理由

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

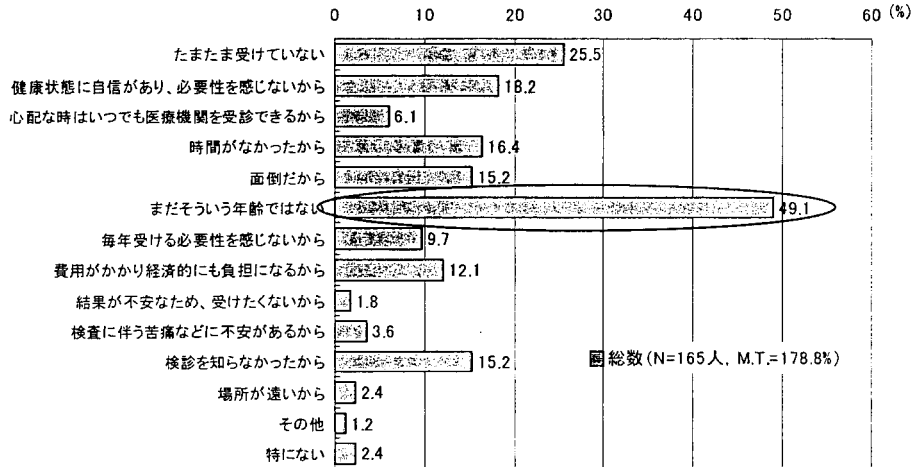


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由①

最近、未受診の理由
(20～29歳)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

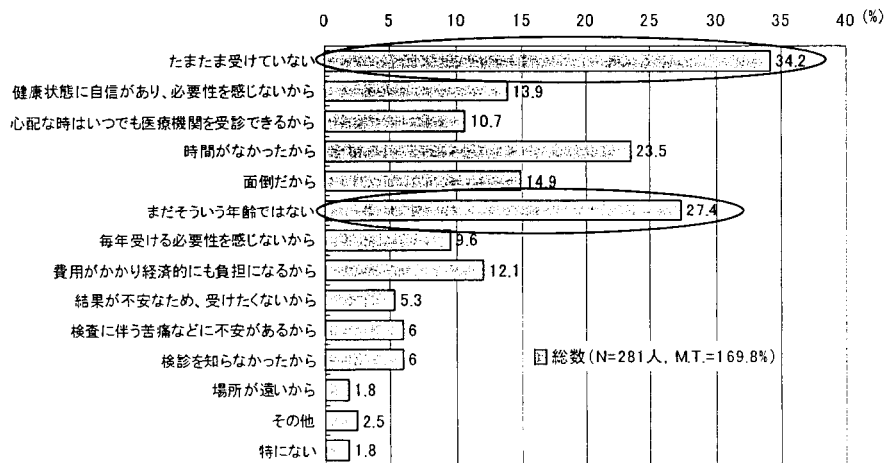


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由②

最近、未受診の理由
(30～39歳)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

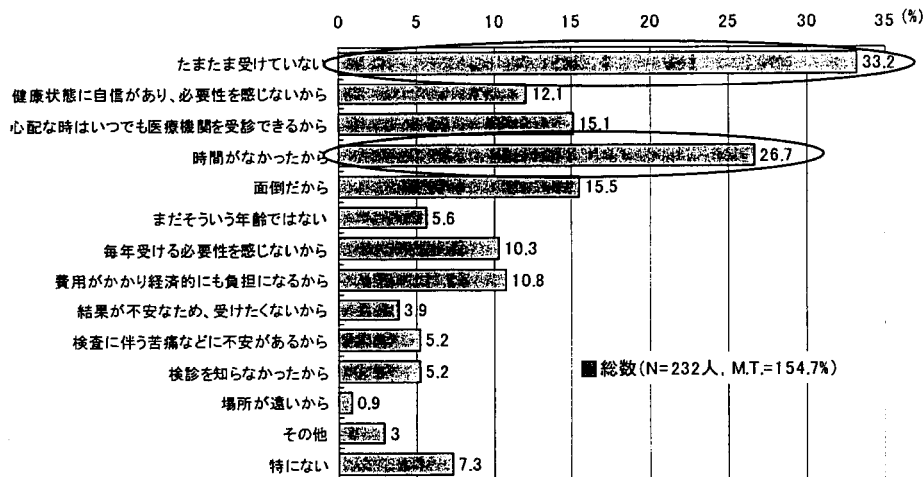


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由③

最近、未受診の理由
(40～49歳)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

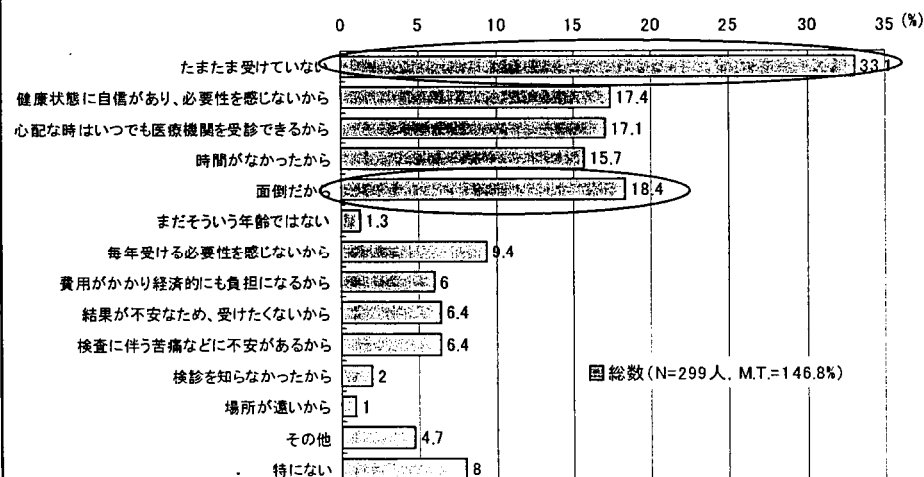


出典：がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由④

最近、未受診の理由
(50～59歳)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

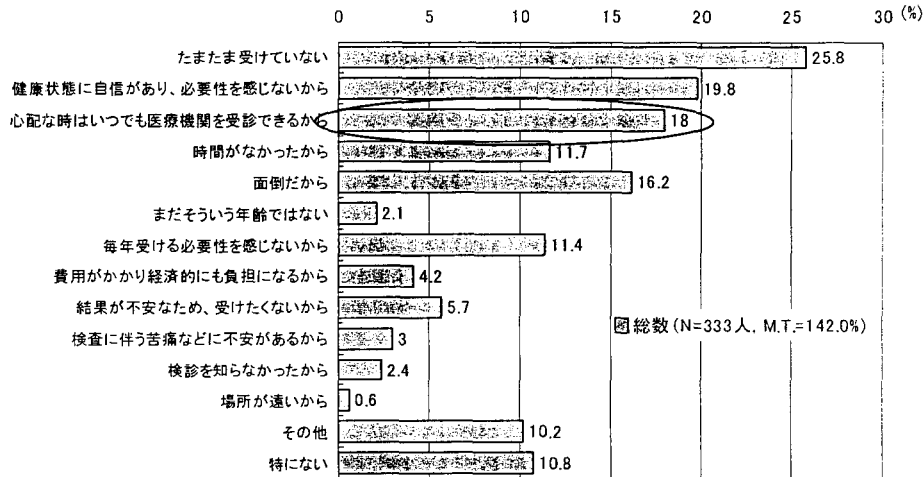


出典：がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由⑤

最近、未受診の理由
(60～69歳)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答

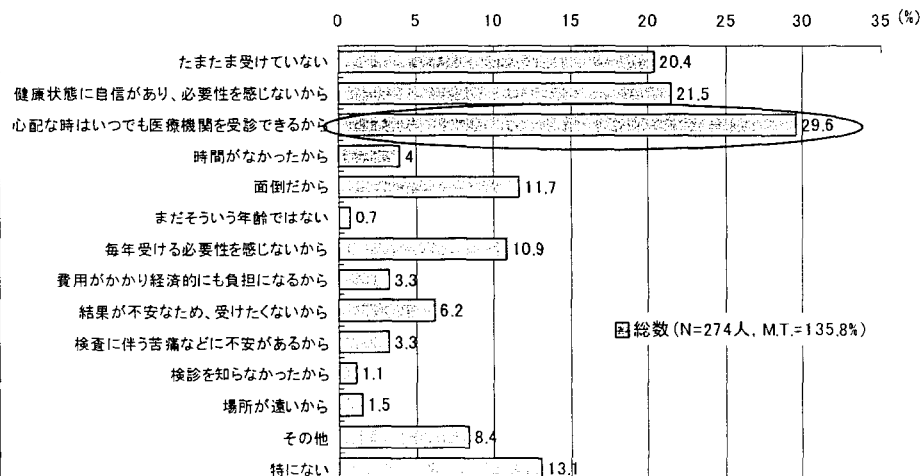


出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

年齢階級別 がん検診 未受診の理由⑥

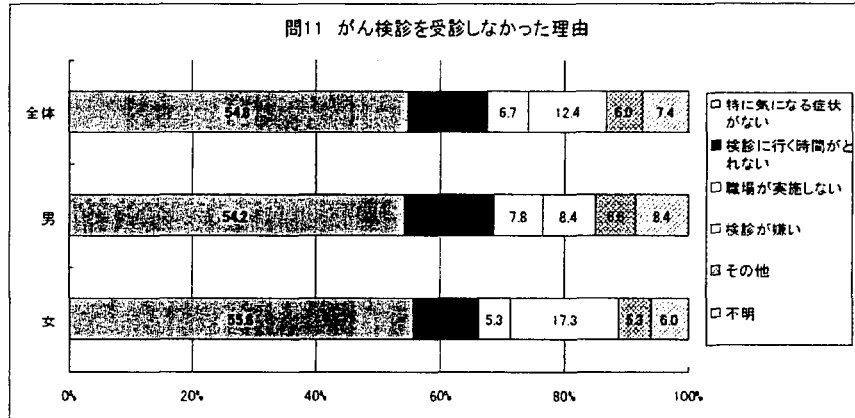
最近、未受診の理由
(70歳以上)

がん検診を「2年以上前に受診」、「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答



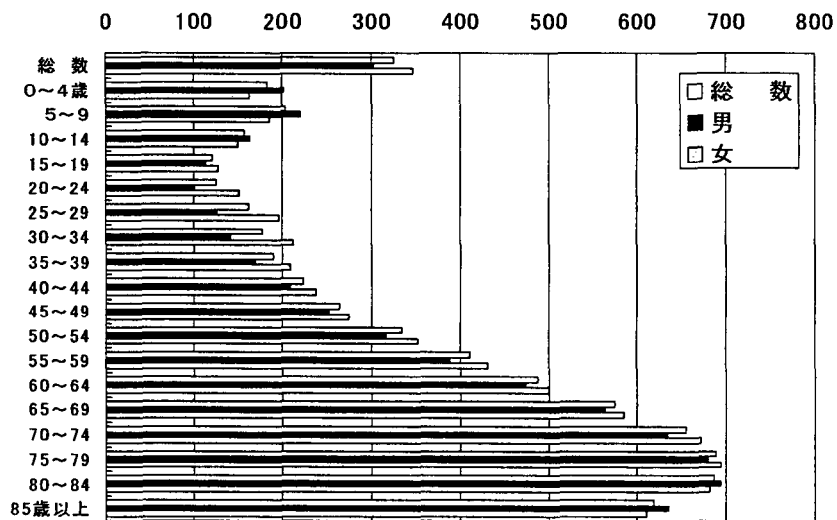
出典: がん対策に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室調べ)

佐賀県の調査結果によるがん検診を受診しない理由



出典:「平成19年度がん予防県民意識調査報告書」平成19年12月 佐賀県健康福祉本部健康増進課

年齢階級別の通院率



出典:平成16年国民生活基礎調査(第2巻71表) (人口千人あたり) 16

自治体におけるがん検診対象者数の算定方法

N=607	自治体数	%
全数把握	115	18.9%
過去(現在)の調査を基に算出	66	10.9%
都道府県で決められた方法	73	12.0%
その他の算出方法	333	55.7%
合計	592	97.5%

平成18年度 厚生労働省「がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究」

17

EUのマンモグラフィの精度管理数値目標

European guidelines for quality assurance in breast cancer screening and diagnosis,
4th ed. 2006

精度管理(プロセス)指標		許容レベル	推奨レベル
対象者中の受診率		>70%	>75%
要精検率	初回	<7%	<5%
	2回目以降	<5%	<
乳がん発見率	3% 初回	罹患率の3倍	それ以
	上	罹患率の1.5倍	それ以上
検診外発見例の割合	1年以内	罹患率の30%	それ以下
	1-2年	罹患率の50%	それ以
進行がん割合 (stage II以上)	下 初回	/	<30%
	2回目以降	25%	<
	25%		
10mm以下の浸潤がんの割合	初回	/	≥25%
	2回目以降	≥25%	≥30%

罹患率: 検診が実施されない場合の期待罹患率

18

市における事業評価の取組状況

検診実施機関への事業評価の状況

精度管理指標の評価

N=607	自治体数	%
行っていない	318	52.4%
がん発見率	191	31.5%
偽陽性率	67	11.0%
陽性適中度	99	16.3%
その他	32	5.3%
合計	707	116.5%

「事業評価のためのチェックリスト」の活用

N=607	自治体数	%
知らない	101	16.6%
活用している	144	23.7%
活用していない	308	50.7%
その他	19	3.1%
合計	707	94.2%

がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究(平成18年老人保健健康増進等事業)
 ○調査対象: 全市(781市)
 ○調査時期: 平成19年3月
 ○回答: 607市から回答あり(回収率77.7%)

19

市における事業評価の取組状況

検診実施機関の決定方法

N=607	自治体数	%
1) 一般競争入札	63	10.4%
2) 随意契約	517	85.2%
3) その他	41	6.8%
合計	621	102.3%

一般競争入札の場合

	自治体数
A 金額のみ考慮	38
B 実績も考慮	11
C 実績及びがん発見率などの精度も考慮	17
合計	66

がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究(平成18年老人保健健康増進等事業)
 ○調査対象: 全市(781市)
 ○調査時期: 平成19年3月
 ○回答: 607市から回答あり(回収率77.7%)

20

